



午前・午後の2部構成/
小川南・小川北・玉里中学校
出身者の部



実行委員長あいさつ
もえか
藤巻 萌香さん

私たちが20年間という長い時間を過ごしてきた中で、多くの人にお世話になり、今も支えていただいています。誰かに手伝ってもらふこと、教えてもらうことは相手の時間をいただき成り立っています。当たり前と思わず、常に感謝の気持ちを忘れないことが大切だと思います。



二十歳の誓い
ゆうり
安田 優凜さん

私たちは、民法の改正により19歳で成人を迎えました。選挙権を持ち大人の一人として社会活動に参加するなど、自分の行動に責任を持つことが求められるようになりました。成人としてこれまでに得た経験や知識、能力を最大限に活かし、これからも社会を担っていく一人の大人として邁進していきたいと思ひます。

1月8日、小川文化センターアピオスにおいて、令和4年度小美玉市二十歳のつどい（旧成人式）が開催されました。昨年度と同様、新型コロナウイルス対策で、午前・午後の2部構成となりました。

令和4年度

は た ち
二十歳の
つどい

午前・午後の2部構成/
美野里・市外中学校
出身者の部



実行委員長あいさつ
花井 大樹さん

大切な気持ちは言葉にして、相手の顔を見て、きちんと伝えられる大人になりたいと思います。そして新しい時代を担っていく人間の一人として、悩み、失敗しながらも、少しずつ確実に成長して何事にも挑戦していきたいです。先の長い人生を、やさしく力強く、そして楽しく生きていくことを誓います。



二十歳の誓い
滑川 孝之介さん

コロナ禍でもどかしさや不自由を感じることもありました。しかし、今までの何気ない日常のありがたみを知る貴重な時間であったと思います。まだまだ未熟な私たちですが、同じまちで育った仲間たちと共にこれまでお世話になった方々に少しでも恩返しができるよう、それぞれの夢や目標に向かって一歩ずつ前進してまいります。



373名の参加者が色とりどりの晴れ着に身を包み、懐かしい友人たちとの久しぶりの再会を喜び合いました。

式典のあいさつに登壇した二十歳代表は、「周りの人への感謝の気持ちとともに、これからの社会を担う一人として精進していく」と述べました。式典に続き、二十歳のつどい実行委員会が企画した卒業アルバムスライドショーを上映。中学校時代の写真や先生たちのメッセージ動画が流れ、写真と動画が移り変わるたび、会場からは歓声が上がりました。

二十歳の皆さん、誠におめでとうございます。

※昨年4月に成年年齢が18歳に引き下げられましたが、市では今までと同様、20歳になる方を対象に実施します。